

来週の「売り物」記事はこれ

MAINICHI

新毎日

2015年3月27日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

欧州育ちのイスラム過激派がはまった罠

寒い国から帰ってきたテロリスト 29日(日)



イスラム過激派組織による無差別テロが世界を恐怖に陥れています。これはまでにない一つの特徴があります。欧州から多数の戦闘員が参加していることです。2013年9月、ケニア・ナイロビで起きた高級ショッピングモール襲撃テロ事件。67人の尊い命が奪われました。実行犯のイスラム過激派「アルシャバブ」戦闘員4人は全員が射殺。そのうちの1人は北欧ノルウェーの出身者でした。ハッサン・アブディ・ドゥフロー容疑者(23)。1999年に内戦下のソマリアを脱出し、ノルウェーに亡命。地元の学校に通い、将来はアフリカのために尽くしたいと考えていた少年でした。ところが高校に入学すると、次第にイスラム過激思想に共鳴するようになったといいます。物静かな少年を変えたのは一体何だったのか。その軌跡を追っていくと、今日の「イスラム国」の核心に通じる、欧州出身テロリストの心的要因が浮かび上がってきました。



日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

前年を上回るベア回答が相次ぐ今年の春闘

東京・新橋でサラリーマンの懐具合を尋ねてみると……

夕刊2面特集ワイド 4月2日(木)



今年の春闘は賃金相場をリードする自動車、電機などの大手が軒並み前年を上回るベースアップを回答するなど明るい話題が続いています。安倍政権は経済政策の成果と強調していますが、サラリーマンの受け止めはどうなのでしょう。夜の東京・新橋で聞くと、「自分の飲み代は減る一方。良くなる感じはしないなあ」など、さえない反応が目立ちます。実は、こうした実感は統計でも裏付けられており、サラリーマンの小遣いは減る一方なのです。春闘の評価をサラリーマンの懐具合から探ります。

倉本聰さんのコラム「林中無策」がスタート

東日本大震災後の日本人の生き方を問う 自作の点描画も掲載

環境面4月1日(水)

「北の国から」「前略おふくろ様」などの名ドラマで知られる脚本家、倉本聰さん＝写真＝のコラム「林中無策」がスタートします。タイトルは、幕末の志士、坂本龍馬による新国家構想の建白書「船中八策」などからイメージしたもの。大自然に囲まれた北海道富良野市に居を構え、俳優や脚本家の養成、環境教育などに力を入れてきた倉本さん。今年80歳を迎えたのを機に、東日本大震災後の日本人の生き方、文明のあり方を問います。ご自身の点描画も掲載します。どうぞ、ご期待ください。



天皇陛下の手術を担当した

天野篤・順天堂大教授のコラム「ひたむきに生きて」

くらしナビ医療・健康面 4月2日（木）



2日朝刊のくらしナビ医療・健康面で、天野教授の新コラム「ひたむきに生きて」が始まります。天野教授は、2012年に天皇陛下の心臓バイパス手術を担当したことで知られ、これまでの手術数が7000例近いという心臓手術の第一人者。新コラムでは、これまでの心臓手術の経験、医師として日頃考えていること、一線の外科医となるまでの波瀾万丈の人生などをざっくばらんに語ります。原則として、毎月第1週木曜に掲載します。

「女の気持ちをたずねて」 おんなのしんぶん 30日（月）

今週は、御年100歳の横浜市栄区の金沢菊枝さんを、東京論説室の野沢和弘記者が訪ねました。好きなタレントは「嵐と福ちゃん（福山雅治さん）」で、好きな食べ物は「ぎゅうにく」という金沢さん。今は次女と穏やかな日々を送っていますが、これまでの人生には、いくつもの困難が立ちはだかりました。過酷な経験を経て、平和を願う金沢さんの思いがつつられています。



食～お弁当の基本 くらしナビ面 31日（火）



新入園の子どもや新社会人など、春は新たにお弁当が必要になる人が増えますね。毎日のお弁当作りに頭を悩ますことも多いのでは。料理研究家の長谷川りえさんに、彩りや栄養バランスがよくなる工夫、常備しておく便利なおかずの作り方などを聞きます。

新1年生の防犯対策 くらしナビ面 4月1日（水）

春、新入学シーズン。新1年生にとっては、登下校時や放課後など、急に行動範囲が広がり、1人での場面も多くなります。犯罪に巻き込まれないために、どんなことに注意したらよいのでしょうか。子どもが自分で危険を察知し、身を守るために取る具体的な方法を、子どもの安全教育に詳しい清永奈穂さんらに聞きます。



センバツ、いよいよ終盤戦

決勝：4月1日（水）午後0時半開始（予定）



連日好ゲームが繰り広げられている「第87回選抜高校野球大会」（毎日新聞社、日本高校野球連盟主催）がいよいよ終盤を迎えます。既に昨夏の覇者・大阪桐蔭（大阪）、14年ぶりの優勝を目指す常総学院（茨城）、50年ぶりの8強入りを果たした静岡（静岡）などが熱戦を勝ち抜き準々決勝に進出。順延がなければ3月29日（日）に準々決勝4試合、30日（月）は休養日、31日（火）は準決勝2試合（午前11時・午後1時半開始）。決勝のプレーボールは4月1日（水）午後0時半です。全国の頂点をつかむのはどの学校か？ 球児らの熱い戦いを毎日新聞でお楽しみください。

大型ルポ「名作の現場」 朝刊文化面 4月4日（土）から

大型ルポ「名作の現場」が始まります。1回目は、作家の島田雅彦さん。夏目漱石の小説「彼岸過迄（ひがすぎまで）」の舞台の一つである東京・神田小川町交差点付近を歩き、明治と今の人間関係の違いや共通点を考えます。